◆早稲田大学総合人文科学研究センター(トランスナショナル研究部門)
高等研究所(研究エリア・比較文明史)共催シンポジウム

アジアの水利問題と国家・社会　その2

日本中世の荘園空間と水利

東アジアの水利問題に関して中世日本社会の村落構造との関連を考える。科学研究費基盤研究(B)の調査として行われた「備中国新見荘における総合的復原研究」(研究代表者海老澤衷)の成果をもとに、現地の水利状況とさまざまな地名データを照合することによって水田農耕社会の実態を明らかにし、東寺領荘園の本質に迫る。

新見荘佐津見里の水利と地名

日時:2013年6月17日(月)13時～17時

会場:33号館第10会議室

報告者

海老澤衷・早稲田大学文学学術院教授
「多層荘園記録システムにおける水利と地名」

貫井裕恵・早稲田大学文学研究科博士後期課程
「備中国新見荘史料の所在と年次比定」

土山祐之・早稲田大学文学研究科博士後期課程
「西方・金谷地区の水利と地名」

久下沼譲・早稲田大学文学研究科博士後期課程
「足立・上市地区の水利と地名」

大島創・早稲田大学文学研究科博士後期課程
「坂本・千屋地区の水利と地名」

飯分徹・早稲田大学文学研究科博士後期課程
「高瀬・釜村地区の水利と地名」

高橋敏子・東京大学史料編纂所准教授
「新見荘史料および新見荘域の水利と地名を考える」